

巻頭言

(北海道支部総会を終えて)



支部長 新屋 保 則

みなさん こんにちは！

8月も中旬となり会員の皆様は如何お過ごしでしょうか？

6月5日、帯広市で、ハイブリッド方式で開催した第21回北海道支部総会&講演会に大勢の方にご参加を賜り厚く御礼申し上げます。この2年間は新型コロナウイルス感染症のまん延で総会は、書面開催で3年振りの対面での総会を開催出来たことを大変嬉しく思っています。また、医療講演を行っていただいた帯広厚生病院の保前先生、「私の声プロジェクト」で、ボイスターを利用して自分の声を残した佐藤仁美様と協力者の水口迅様にはこの場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。

今回の支部総会には4社のメディアが取材に入りました。北海道支部総会・講演会では大変珍しいことです。これも初めて支部総会・講演会を帯広市で開催したことと思います。

医療講演に先立ち「歌の翼隊」により演奏会が行われ十勝足寄出身の松山千春の「大空と大地の中」やドリ・カムの「ラブラブラブ」を始め、ファゴットでオーバーザレインボーが演奏され、ファゴットの音色に会場の方々は耳を済ませていました。

私自身、「歌の翼隊」の活動団体NPO法人 和・ハーモニー音楽療法研究会を会員として支援させていただいておりますが、北海道支部も「歌の翼隊」を患者様のご自宅に派遣する事業も行っておりますので派遣を希望される方は事務局にご相談ください。

今年は日本ALS協会の役員改選期にあたり、5月28日の社員総会で新会長に岐阜県支部長の恩田聖敬（おんださとし）氏（44歳）が就任しました。（協会ホームページに就任挨拶が掲載されています。）また、北海道支部か

ら副支部長の山田洋平氏が就任しました。

山田洋平氏も新会長と同年代です。今まで以上に若い理事会の構成となりましたので、日本 ALS 協会の活動に精力的に取り組んでいただけるものと信じています。そして協会の発展を願っております。

8月はお盆を迎えます。お盆は家族の絆を深める機会です。新型コロナウイルス感染も落ち着きを取り戻し、社会活動が活発化しておりますので、今年は多くの方が帰省されるでしょう。

どうぞ、この機会を大切に家族の絆を深めてください。

大勢の ALS 患者さんは、家族と過ごす時間をとても楽しみにしていることでしょう。

暑い日々の中ですが、皆様にはご自愛いただきお過ごしくださいませ。